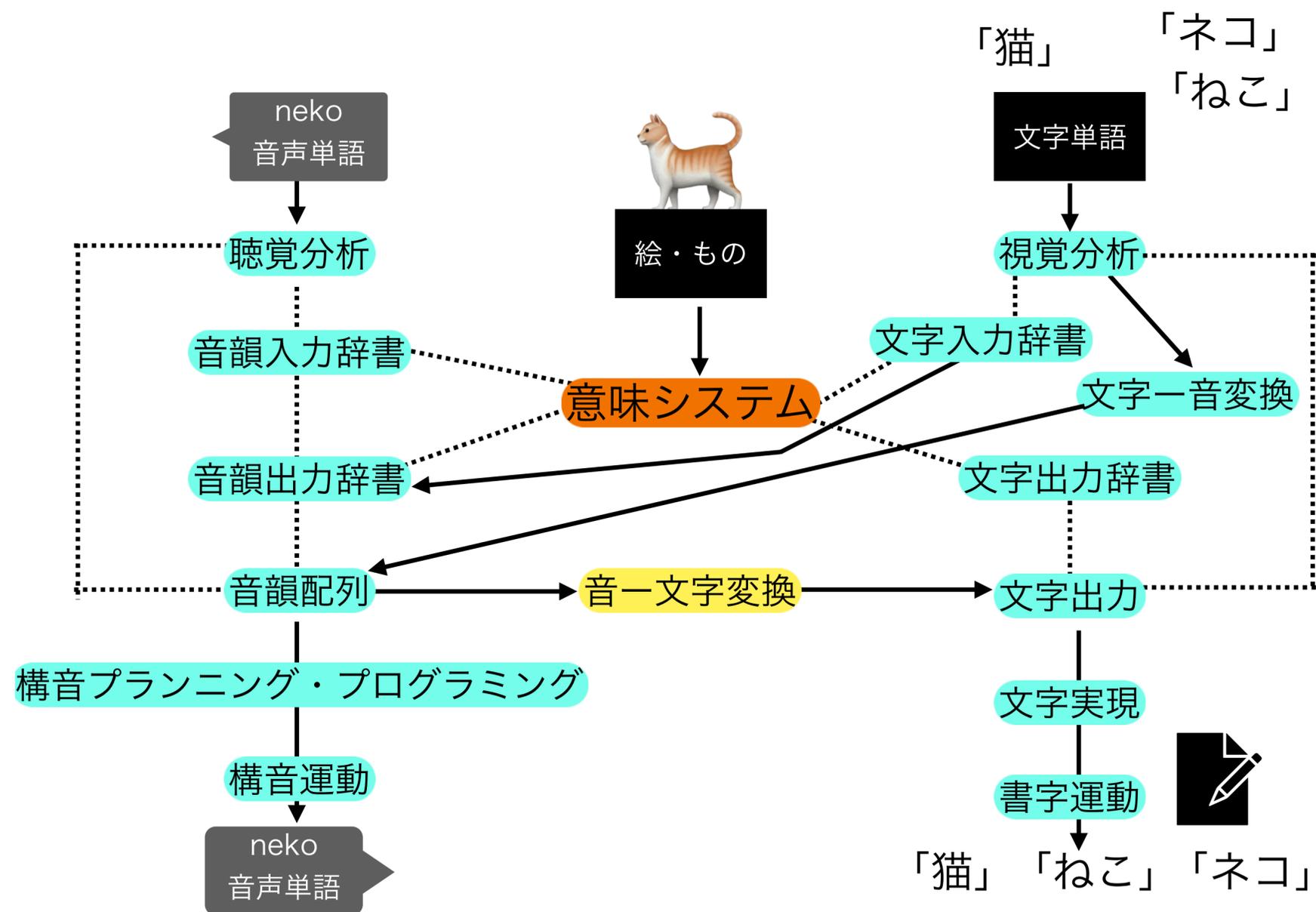


# 「話す」「聴く」「読む」「書く」がわかる!!

## 【明日から臨床が変わる!】 ログジェンモデル 《概要編》

### ログジェンモデル実践活用

基礎理解から失語・構音・発達への応用まで



講師 佐藤俊彦

言語聴覚士学びの場研究会 主幹  
言語聴覚士 福祉社会科学修士  
コミュニケーション支援師

## 【佐藤俊彦 プロフィール】

言語聴覚士として20年以上、医療・教育・福祉の幅広い現場で、

失語症・構音・発達支援に携わっています。

福岡大学を卒業後、福岡国際医療福祉学院で資格を取得し、

大分大学大学院では福祉社会科学修士を取得。

急性期病院、回復期リハ病院、介護保険分野、小児分野で臨床経験を積んだのち

大学教員として学生教育にも携わり、公益社団法人大分県言語聴覚士協会の会長も務めました。

現在は「言語聴覚士学びの場研究会」を主宰し、

株式会社アルテの療育センター長として子どもの支援と家族支援に注力しています。

専門性だけでなく、安心して話せる場づくりを大切にし、

臨床家・学生・保護者の学びと相談を支えています。

<ロゴジェンとの出会い>

専門学校で「音読と読解は違うんだ!!!」

「音読は意味が分かってなくてもできるんだ!!!」

「インプットのコントロール次第でアウトプットは変わるんだ!!!」

「内言語のコントロールはSTの腕次第!!!」

アカデミックなセミナーは多いけど、もっと極初歩のセミナーは少ないな、、、

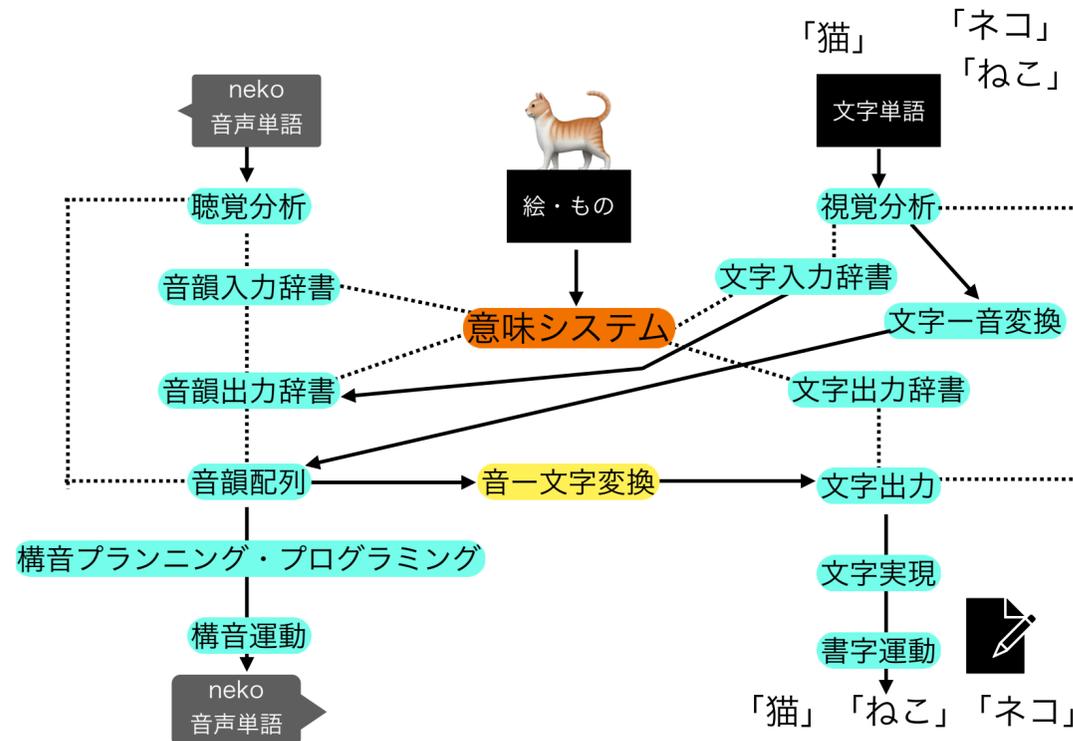
「簡単なことは簡単に」 「難しいことも簡単に」を意識したセミナーを  
自分でやろう!!!

# 本日のゴール

## ロゴジェンモデルを「学術知識」から「臨床ツール」へ

### 1. 全体像の把握

モデルの構造を理解し、  
頭の中の「地図」として使えるようになる。



### 2. つまづきの説明

「なぜ言えないのか」の  
エラー原因を論理的に説明できる。

### 3. 臨床の応用

失語・構音・発達の各領域での  
具体的な使い分けがわかる。

ロゴジェンモデルを用いた言語聴覚療法で症例が不利益を受けることはない

# 本日の流れ (50分)

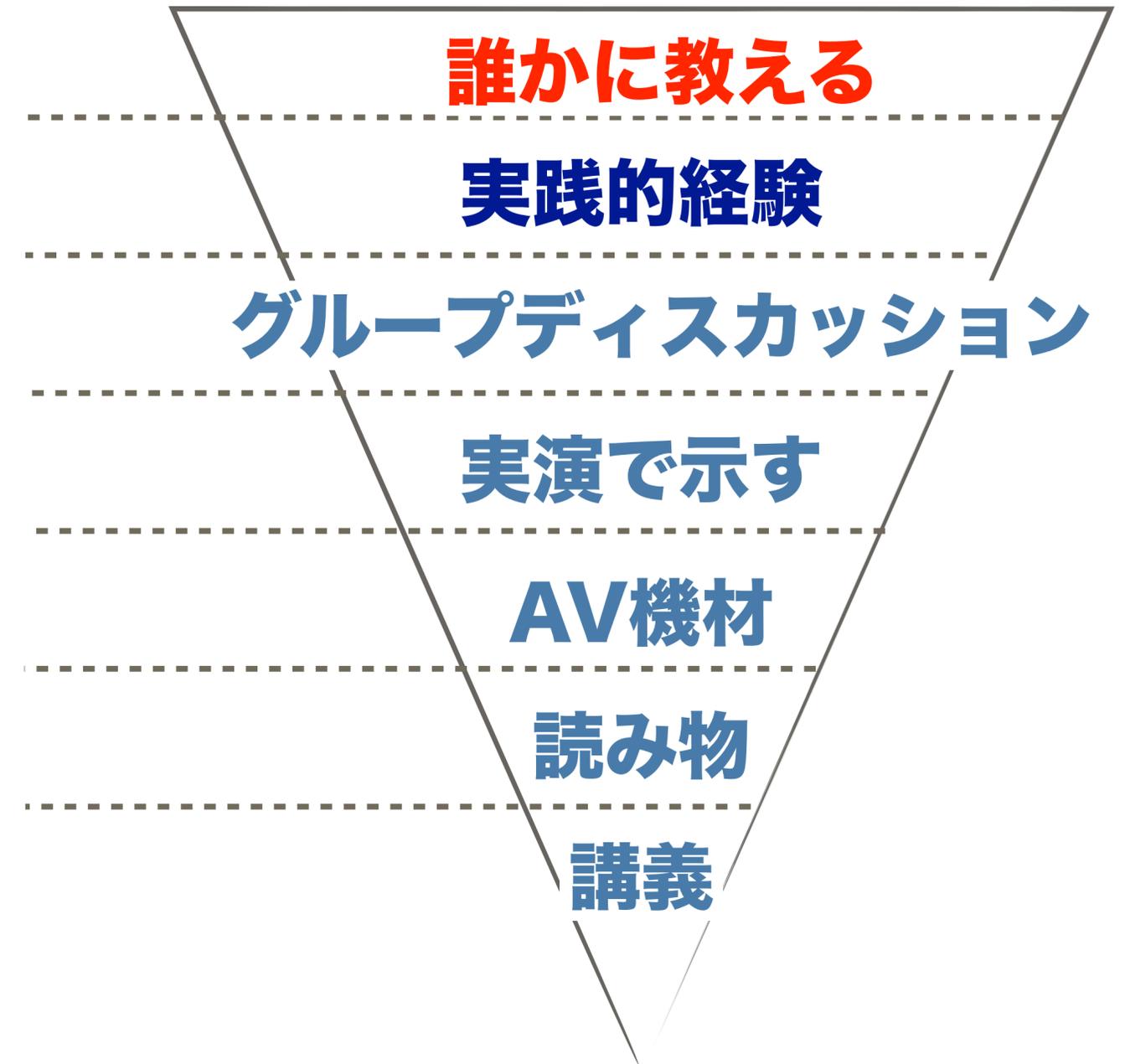
01. ロゴジェンモデルの全体像

02. モデルの”核心部分”を理解する

03. 臨床場面の”ズレ”を説明する

04. 評価と支援に活かす

05. まとめと質疑応答

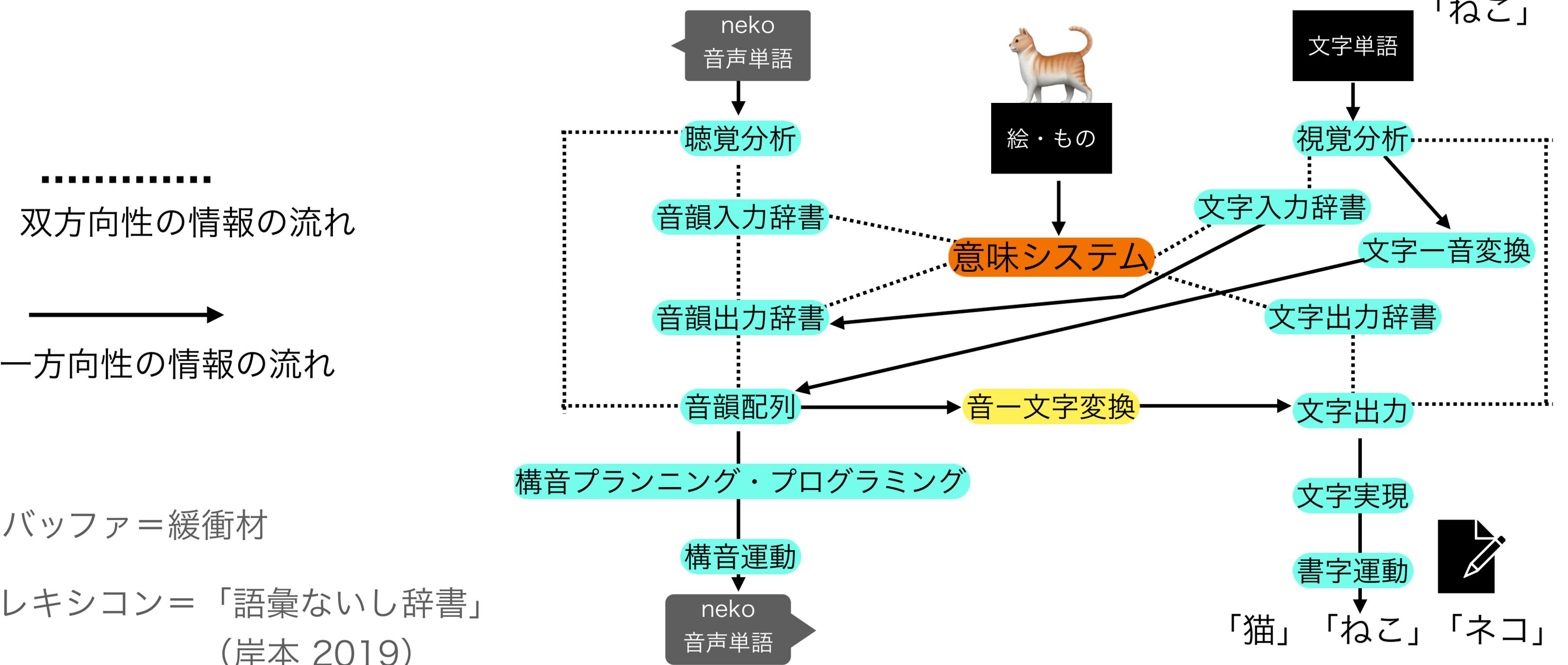


# 失語症のモデルではなく、単語の情報処理システム (ことばにまつわるリハに利用可能)

logo = 単語    genus = 生まれる

中村光先生のロゴジェンモデルを一部改変

「猫」    「ネコ」  
「ねこ」



.....  
双方向性の情報の流れ

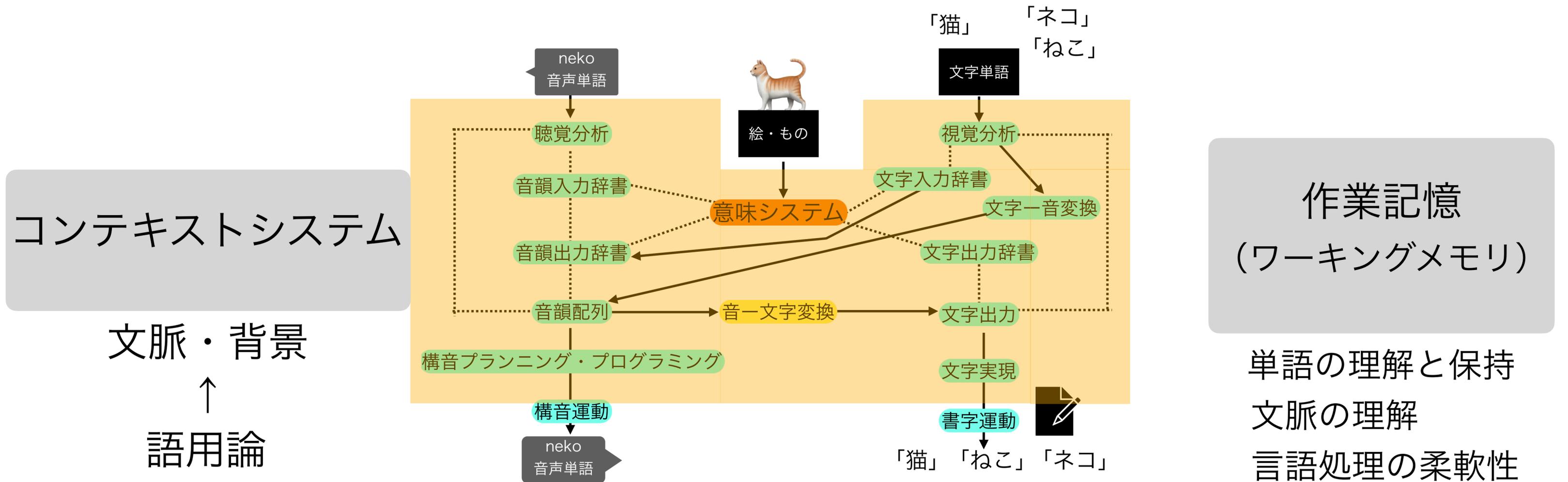
—————  
一方向性の情報の流れ

バッファ = 緩衝材

レキシコン = 「語彙ないし辞書」  
(岸本 2019)

# なぜ、今「ロゴジェンモデル」なのか？

多くの言語障害に共通する「見えない頭の中の処理」を可視化



**失語症:** 聴理解・呼称・復唱の成績の「解離 (ズレ)」を説明できる。

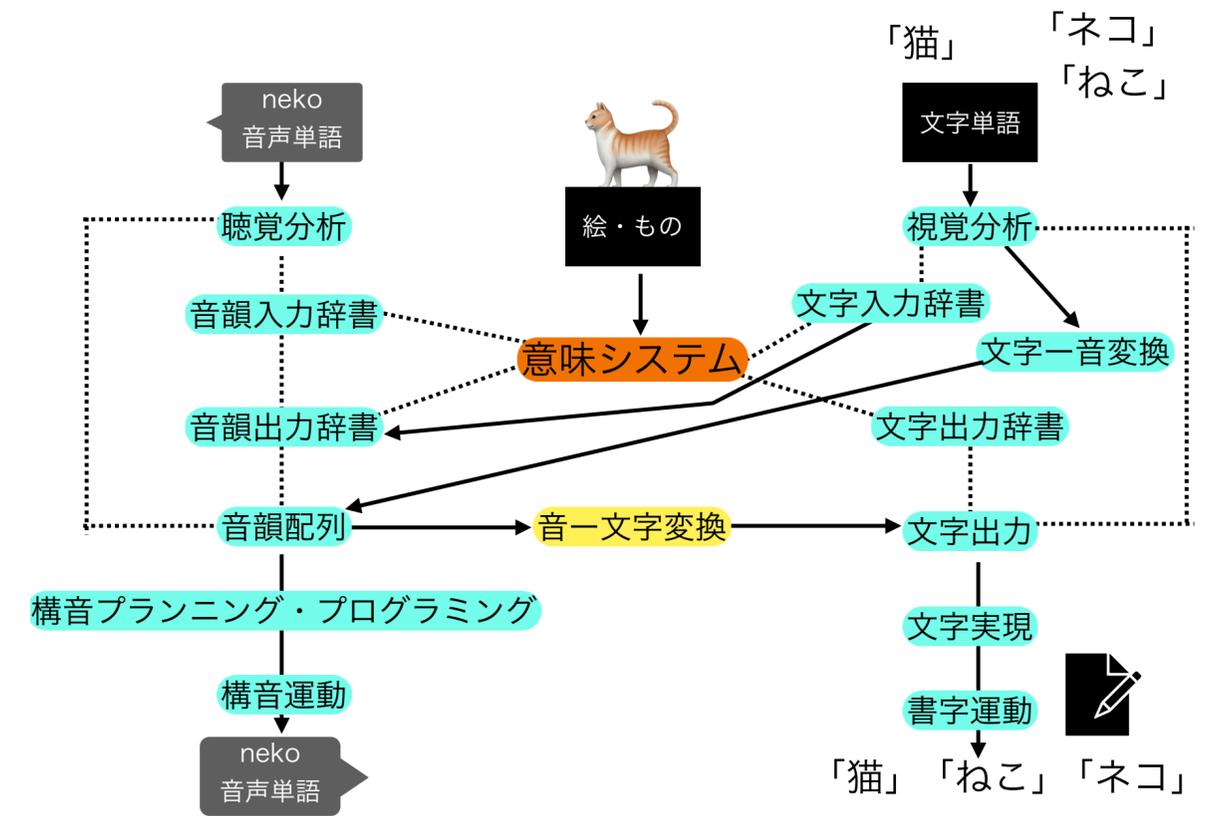
**構音障害:** 「口の動き (運動)」の問題か「音の知識 (音韻)」の問題かを整理できる。

**発達障害:** 語彙の増加がどのように構音の発達に影響するかを理解できる。

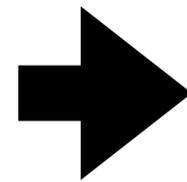
単語の理解と保持  
文脈の理解  
言語処理の柔軟性  
情報の整合性の確認



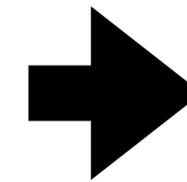
# ロゴジェンモデルの核心：3つの階層



①音韻レベル  
音の並び・弁別



②語彙レベル  
語の箱

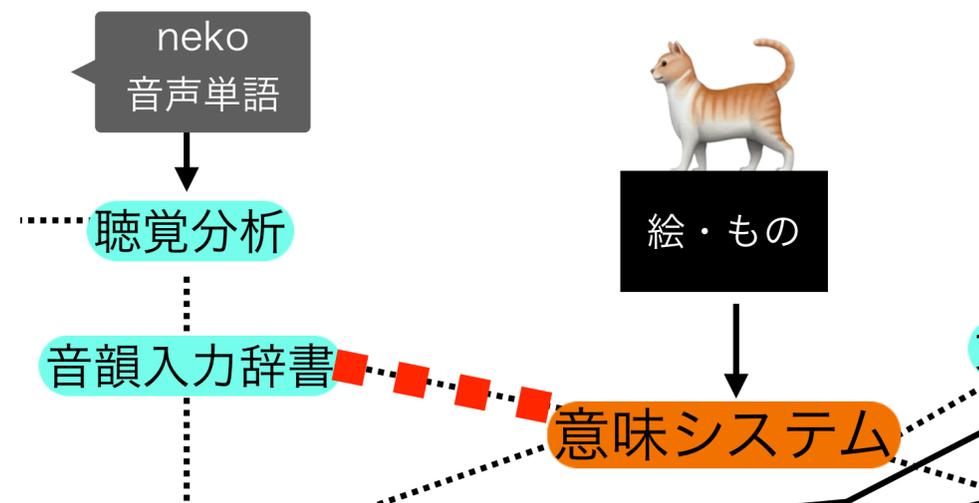


③意味レベル  
概念・中身

「聴覚的理解」で詳細説明

## ②語彙レベル（ロゴジェンモデル）

### 図書館の「検索カード」



ここには単語の意味（本の中身）はありません。

「単語の形（スペルや音のパターン）」

だけが登録。



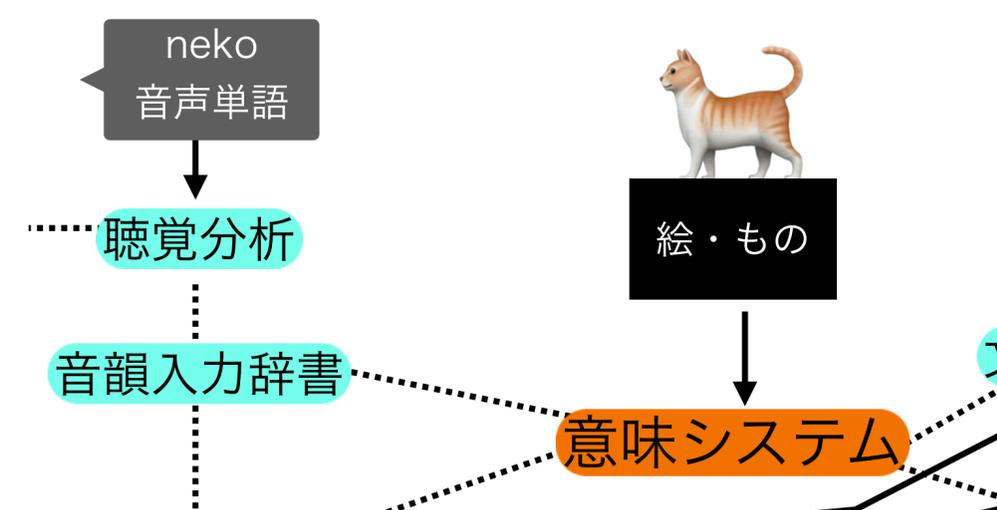
### ※閾値（いきち）理論

よく使う言葉はスイッチが入りやすく（閾値が低い）、

普段使わない言葉はスイッチが重い（閾値が高い）。



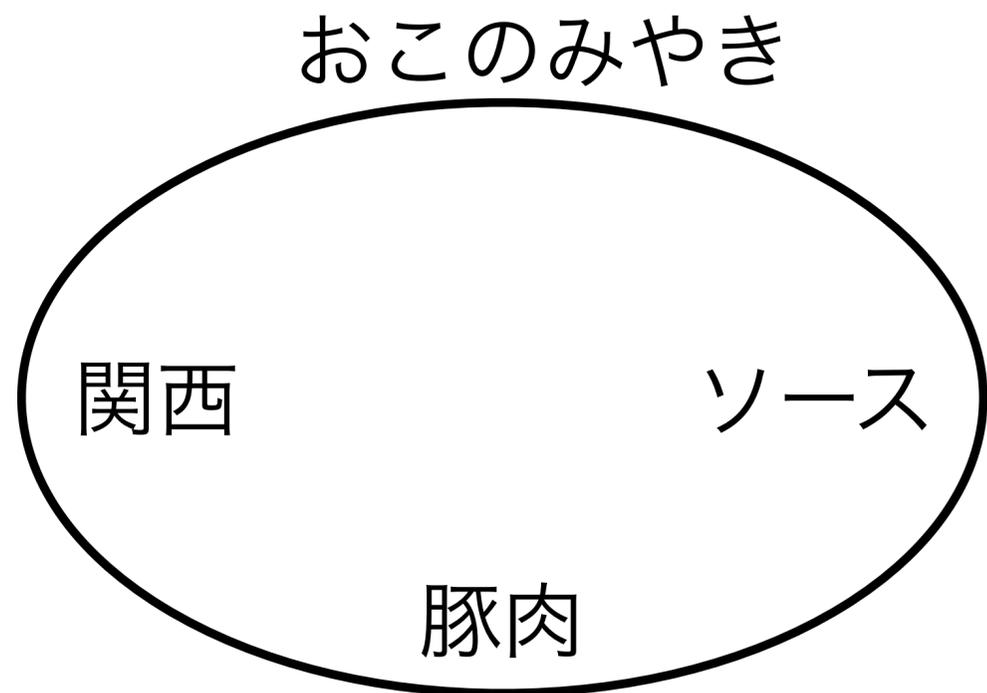
### ③意味レベル（意味システム）



### ネットワーク

言葉の「中身」や「イメージ」の倉庫

それぞれの概念は独立しておらず、  
ネットワークで繋がっている

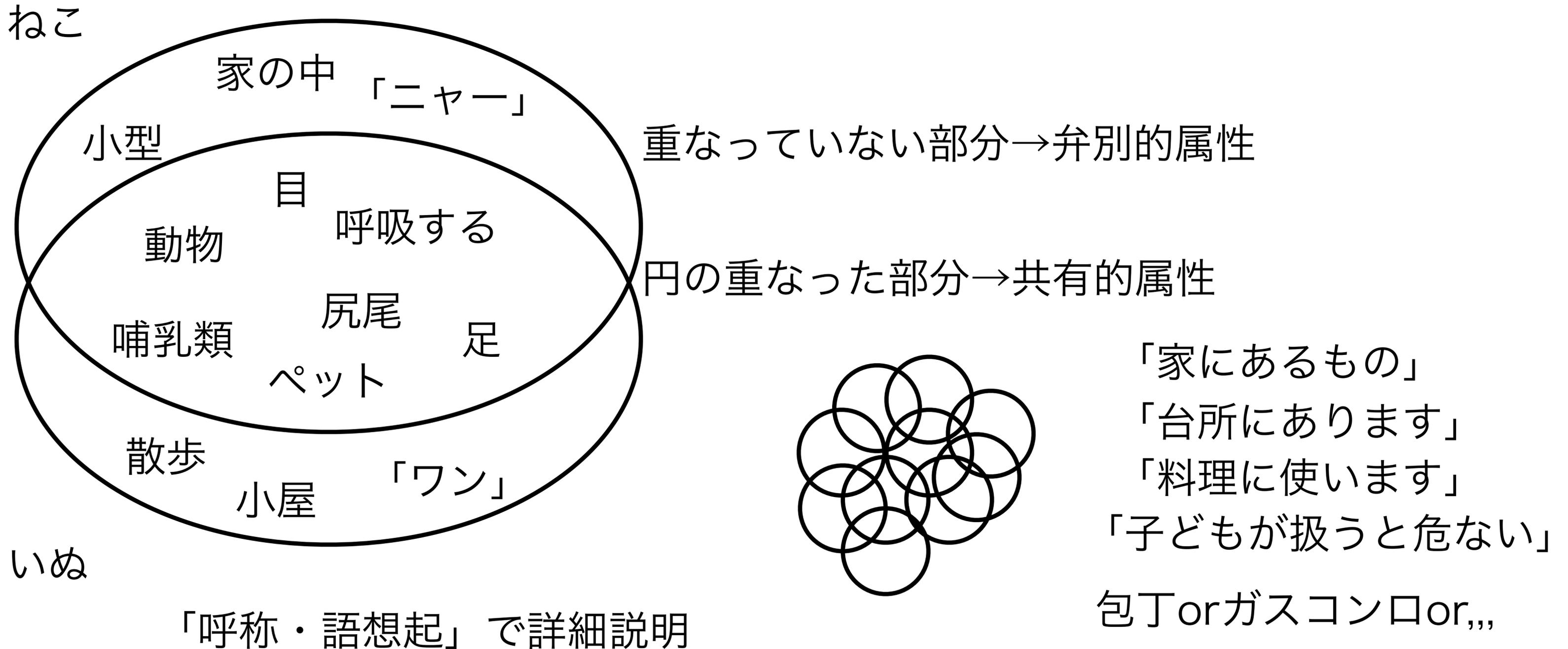


カテゴリー： 食べもの、動物、乗り物...

意味属性： 特徴（関西、ソース、豚肉...）

# 意味の分散モデル

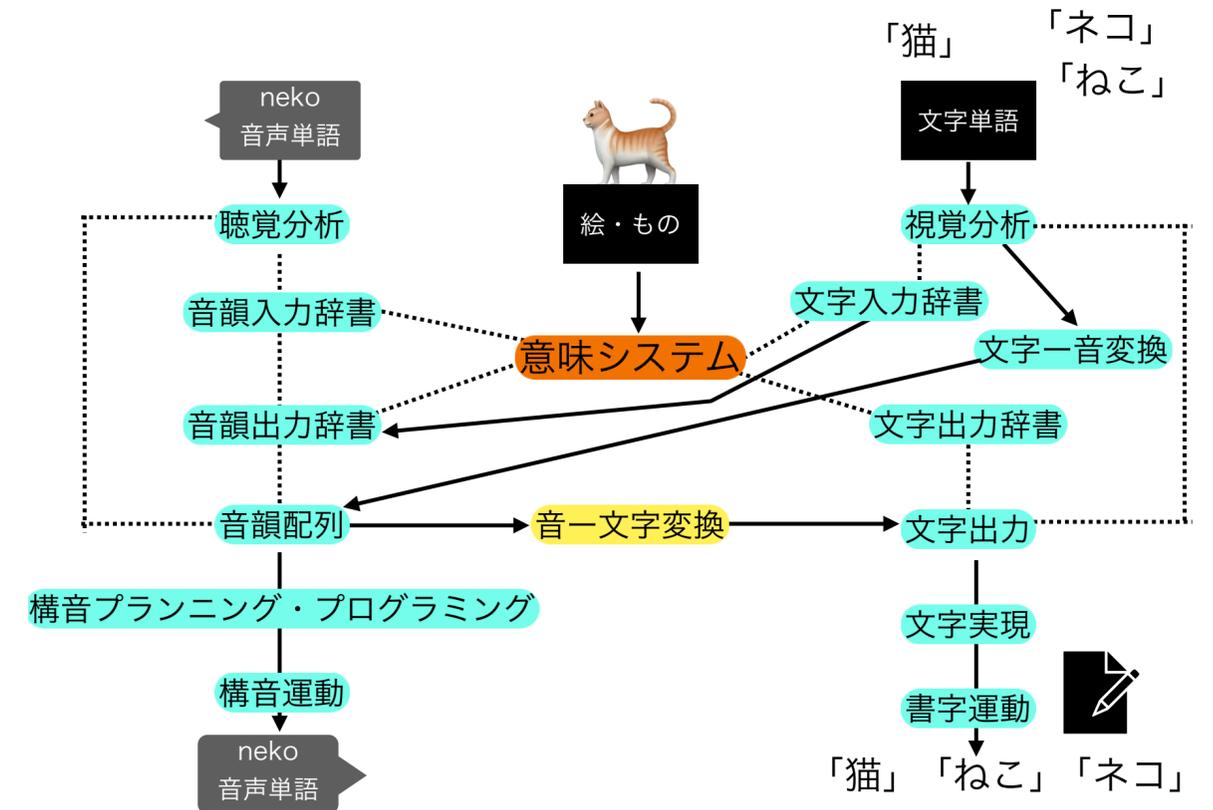
「ペット」「おとなしい」などが一つのノード（結節点・要素）であり、  
その集合体が「ねこ」項目の意味を構成していると想定



# 臨床活用：失語症の「ズレ」

症例「言われていることは分かる（聴理解OK）のに、  
名前が出てこない（呼称NG）」

機能	ロゴジェンモデル上のルート	状態
聴理解	音韻分析 → 語彙レベル → 意味システム	比較的良好
呼称	意味システム → × 出力ロゴジェン	障害





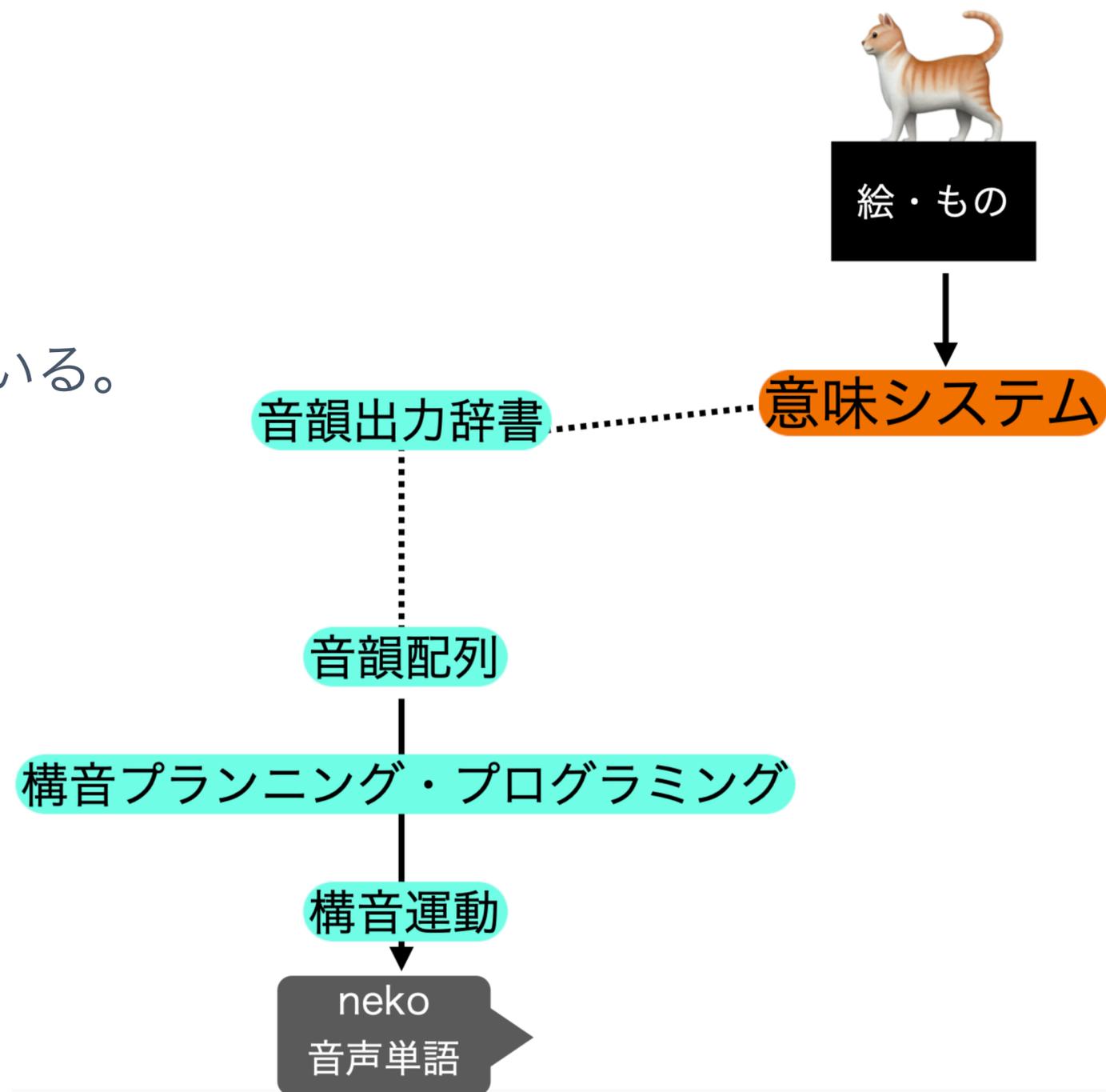
# 錯語のメカニズムを説明する

## 音韻性錯語 「ネコ」 → 「ネタ」

原因：語彙の選択は合っているが、  
その後の「音韻出力辞書」「音韻配列」で誤りが生じている。

## 語性錯語 「ネコ」 → 「イヌ」

原因：「意味システム」から「語彙」を選択する段階で、  
関連する別の語を選んでしまっている。



# 支援・訓練への展開

## ①意味属性の強化

「赤い」「丸い」などの特徴づけを行い、意味ネットワークを活性化させる。

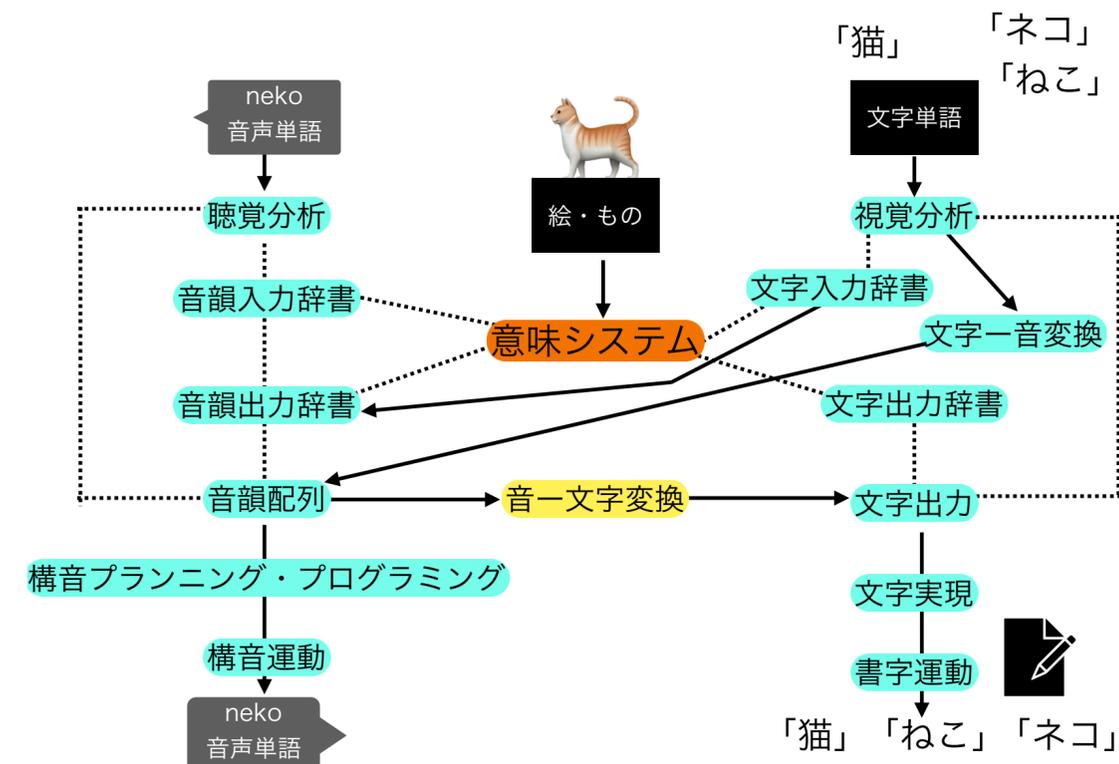
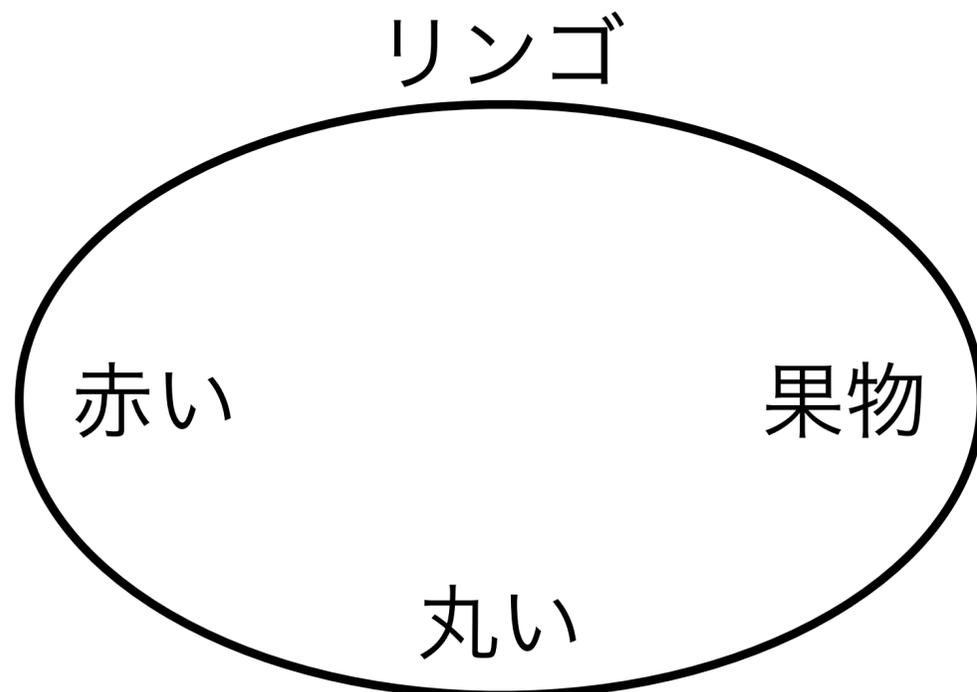
## ②閾値を下げる

呼称訓練は単なる練習ではなく、回路を何度も通電させて

「スイッチを軽くする（閾値を下げる）」作業

## ③音韻アウェアネス

しりとりや逆唱などで、音の分解・抽出能力（音韻レベル）を直接鍛える。



# 臨床活用：機能性構音障害

## 運動の問題？音韻の問題？

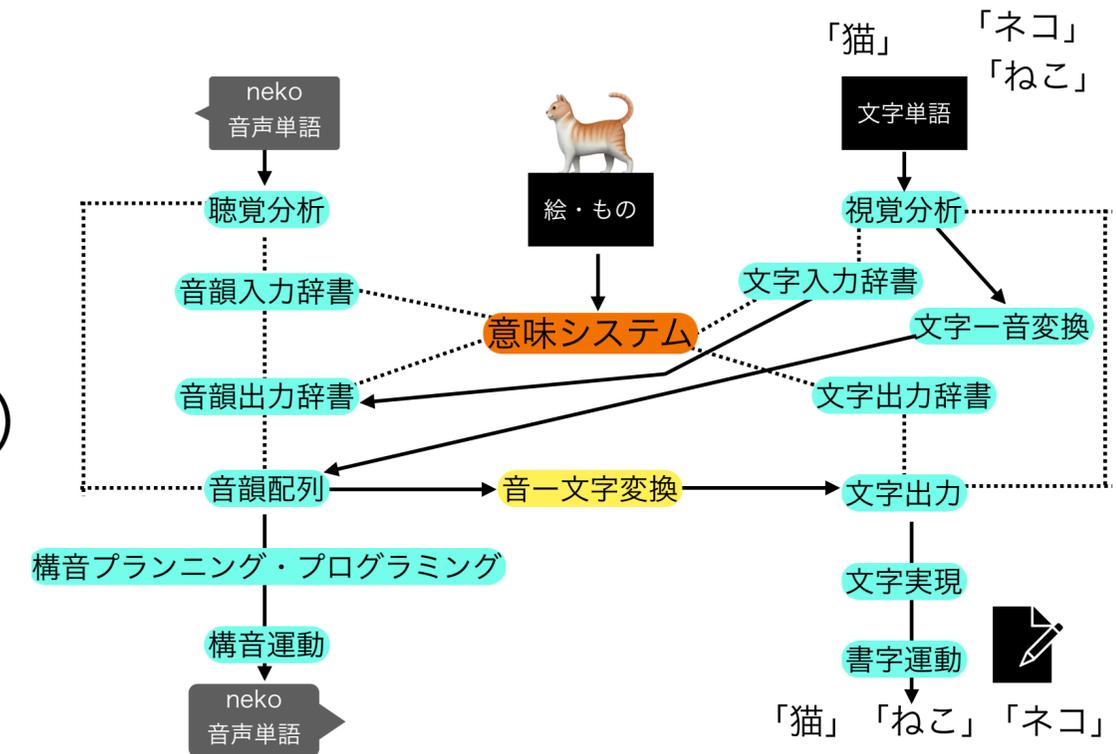
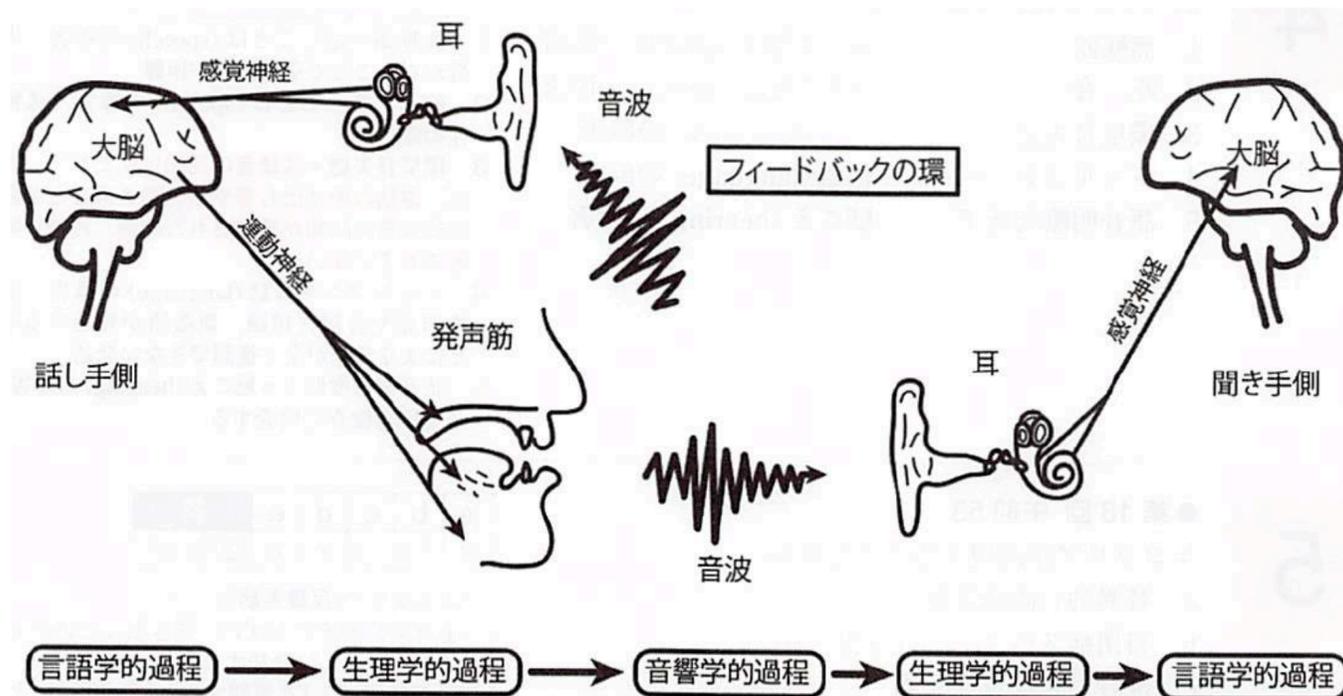


「サ行」が言えない子がいたとき、舌の動き（運動）が悪いのか、頭の中での音のイメージ（音韻）が曖昧なのか。

**音韻レベル：**音の聞き分け（弁別）が弱い。

自分の音の誤りに気づけない（モニター機能低下）

**運動レベル：**誤った構音操作。



# 本日の流れ (50分)

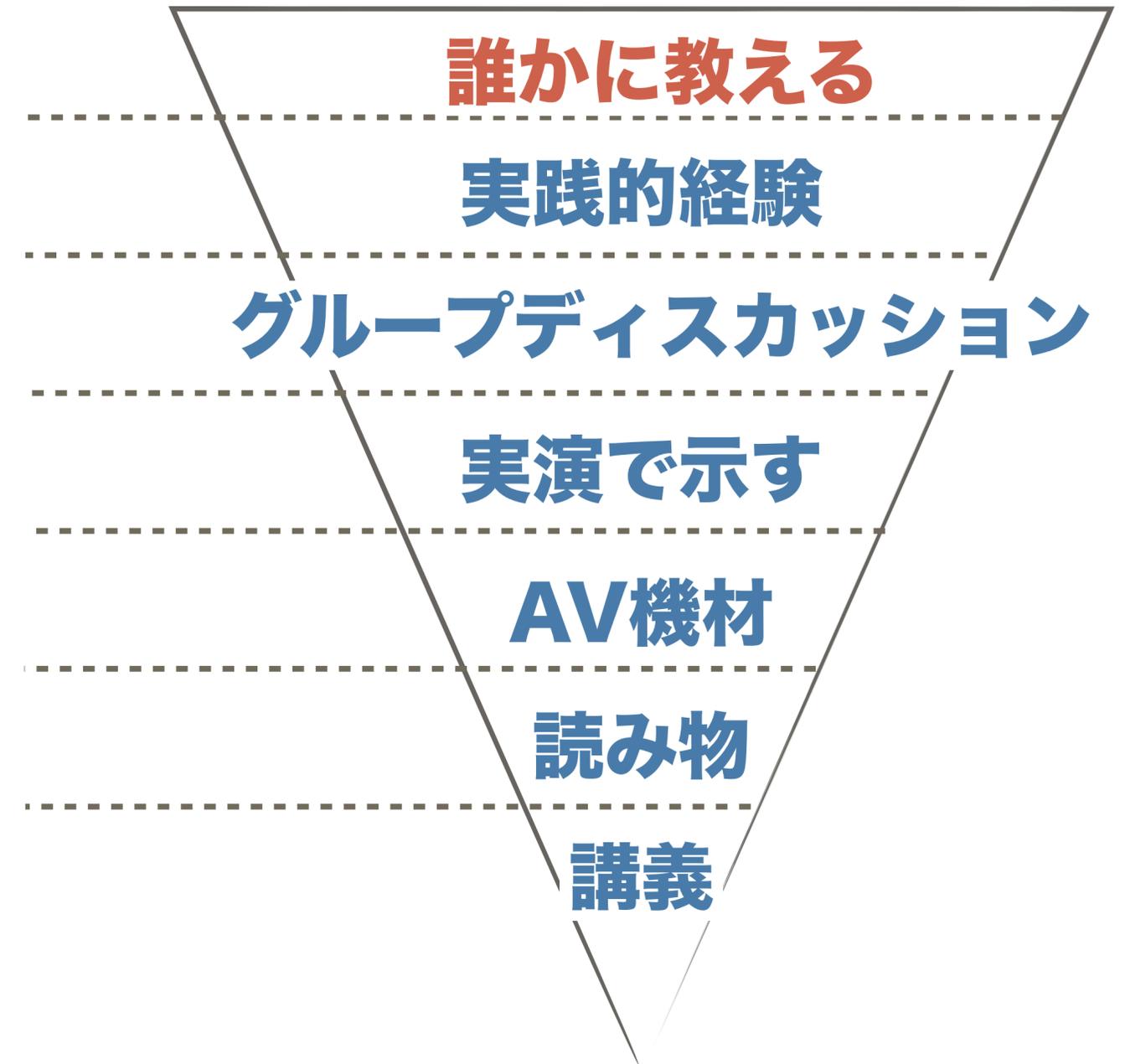
01. ロゴジェンモデルの全体像

02. モデルの”核心部分”を理解する

03. 臨床場面の”ズレ”を説明する

04. 評価と支援に活かす

05. まとめと質疑応答

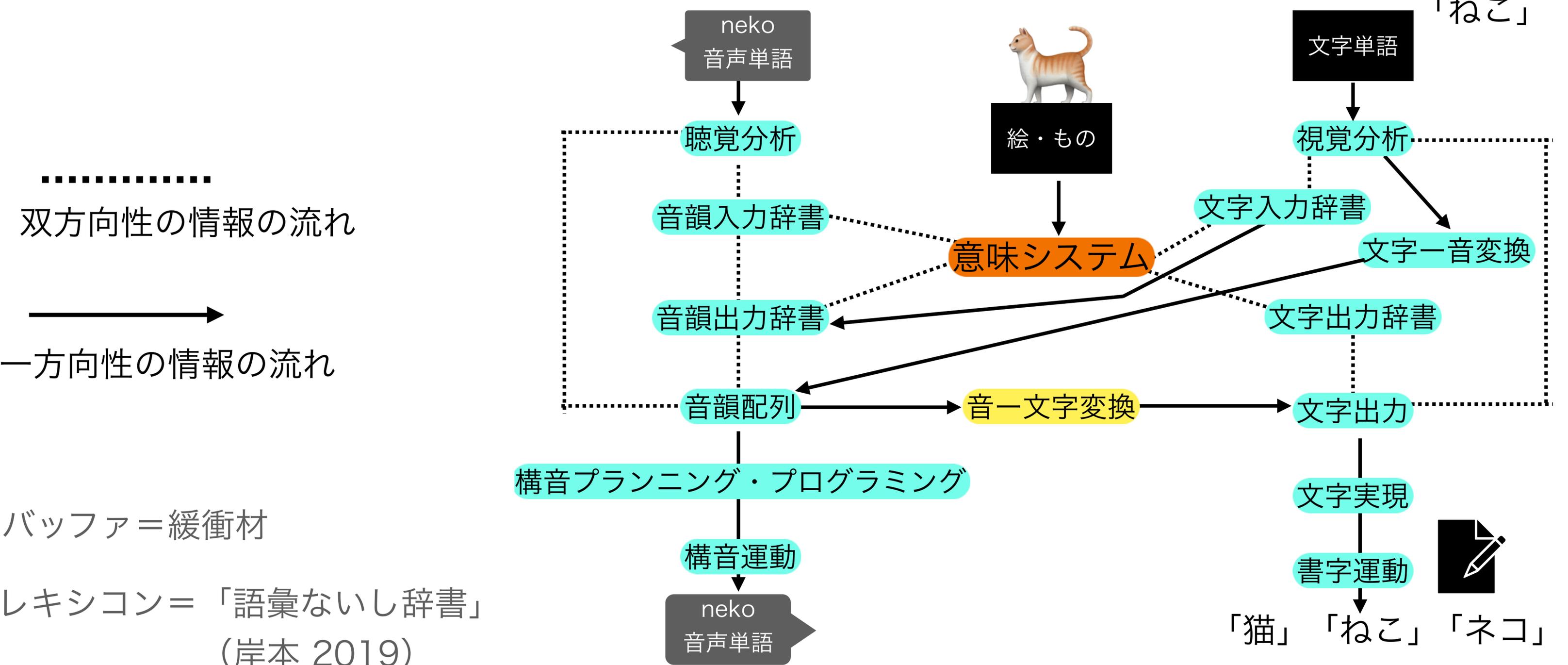


# 失語症のモデルではなく、単語の情報処理システム (ことばにまつわるリハに利用可能)

logo = 単語    genus = 生まれる

中村光先生のロゴジェンモデルを一部改変

「猫」    「ネコ」  
「ねこ」



.....  
双方向性の情報の流れ

→  
一方向性の情報の流れ

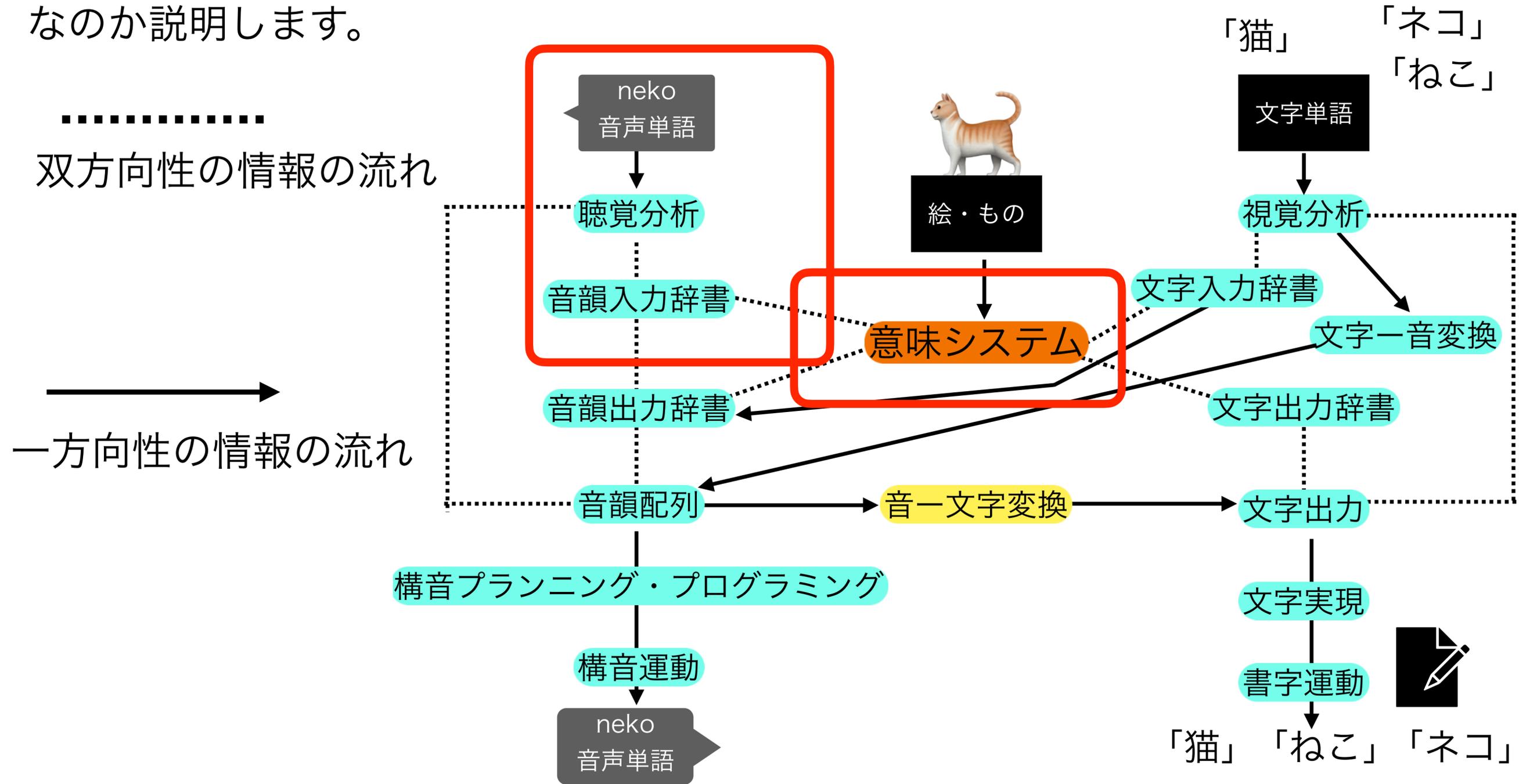
バッファ = 緩衝材

レキシコン = 「語彙ないし辞書」  
(岸本 2019)

【「聴く」がわかると臨床が一気にレベルアップ！】 ロゴジェンモデルで“聴く力の改善”がわかる  
《聴覚的理解アプローチ 完全マスター講座》 — 明日から使える！動画+PDFオンデマンド —

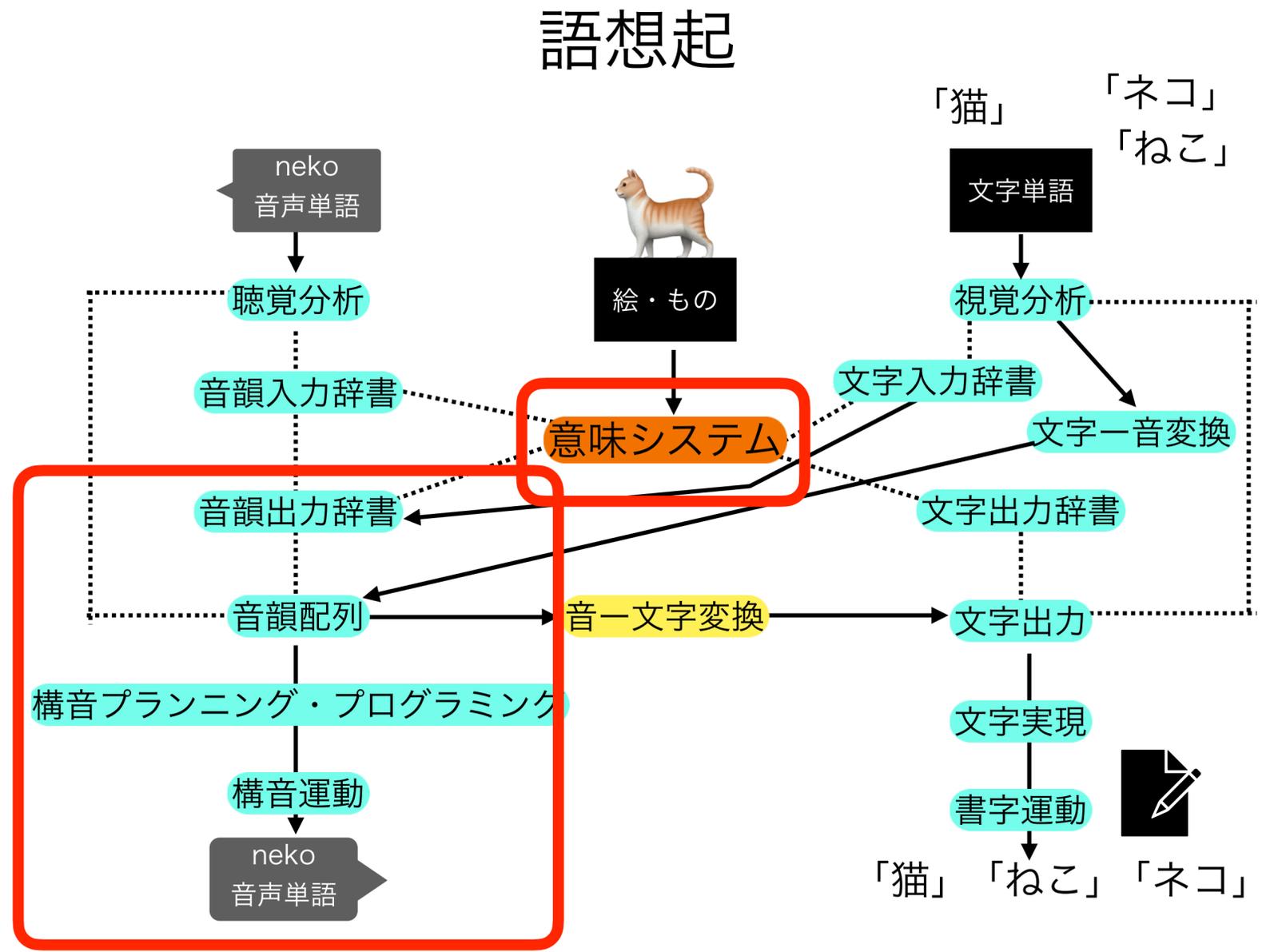
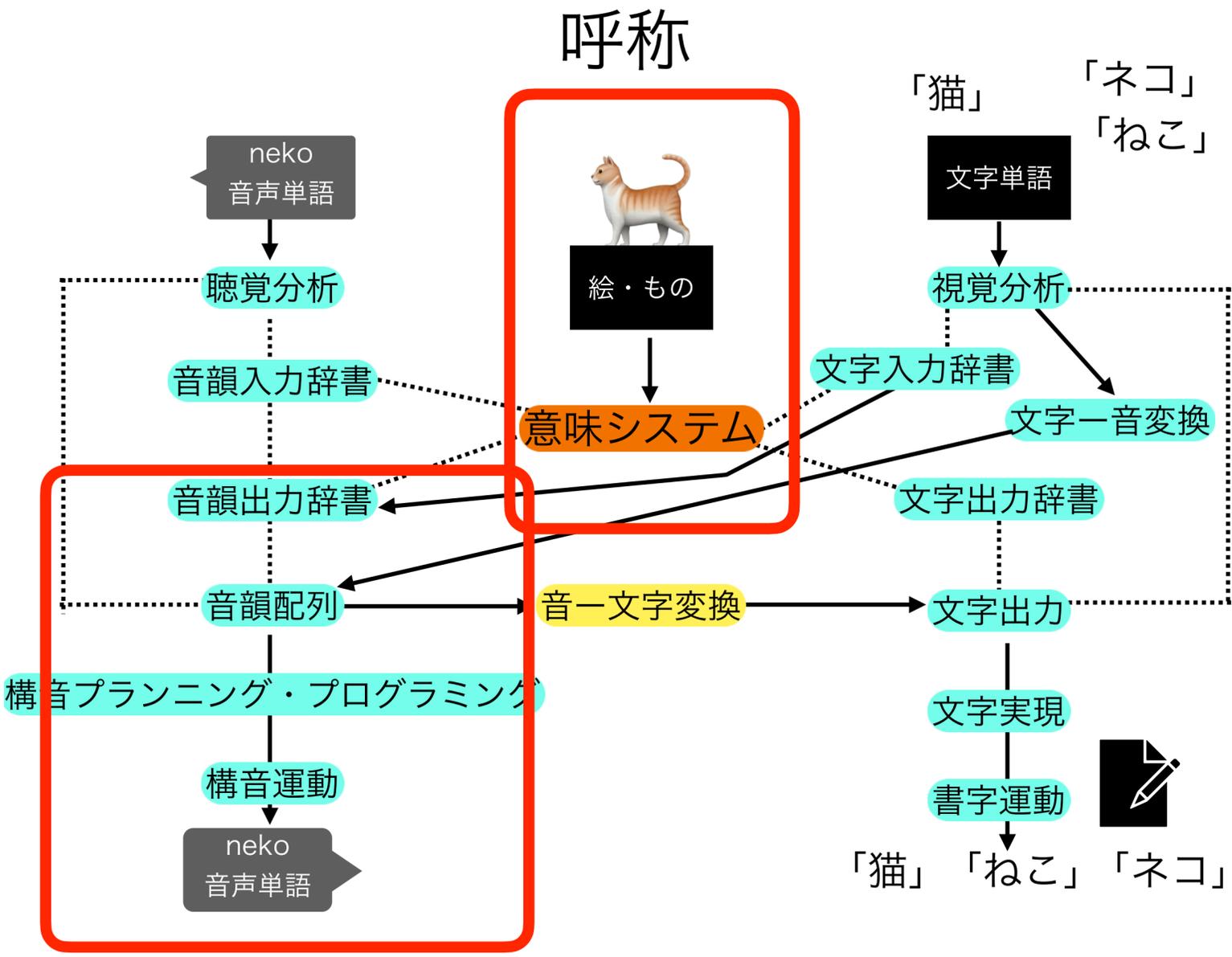
## ・明日から実践できるロゴジェンモデル<聴く（聴覚的理解）>編

ロゴジェンモデルにおける<聴覚的理解>の言語処理過程について説明し、さらに「語音聾」「音韻照合障害」「語形聾」「語義聾」がそれぞれの情報処理過程における障害なのか説明します。



・第3回明日から実践できるログジェンモデル<話す（呼称・語想起）>編

ログジェンモデルにおける<呼称><語想起>の言語処理過程について説明し、さらに「語性錯語」「音韻性錯語」がそれぞれの情報処理過程における障害なのか説明します。

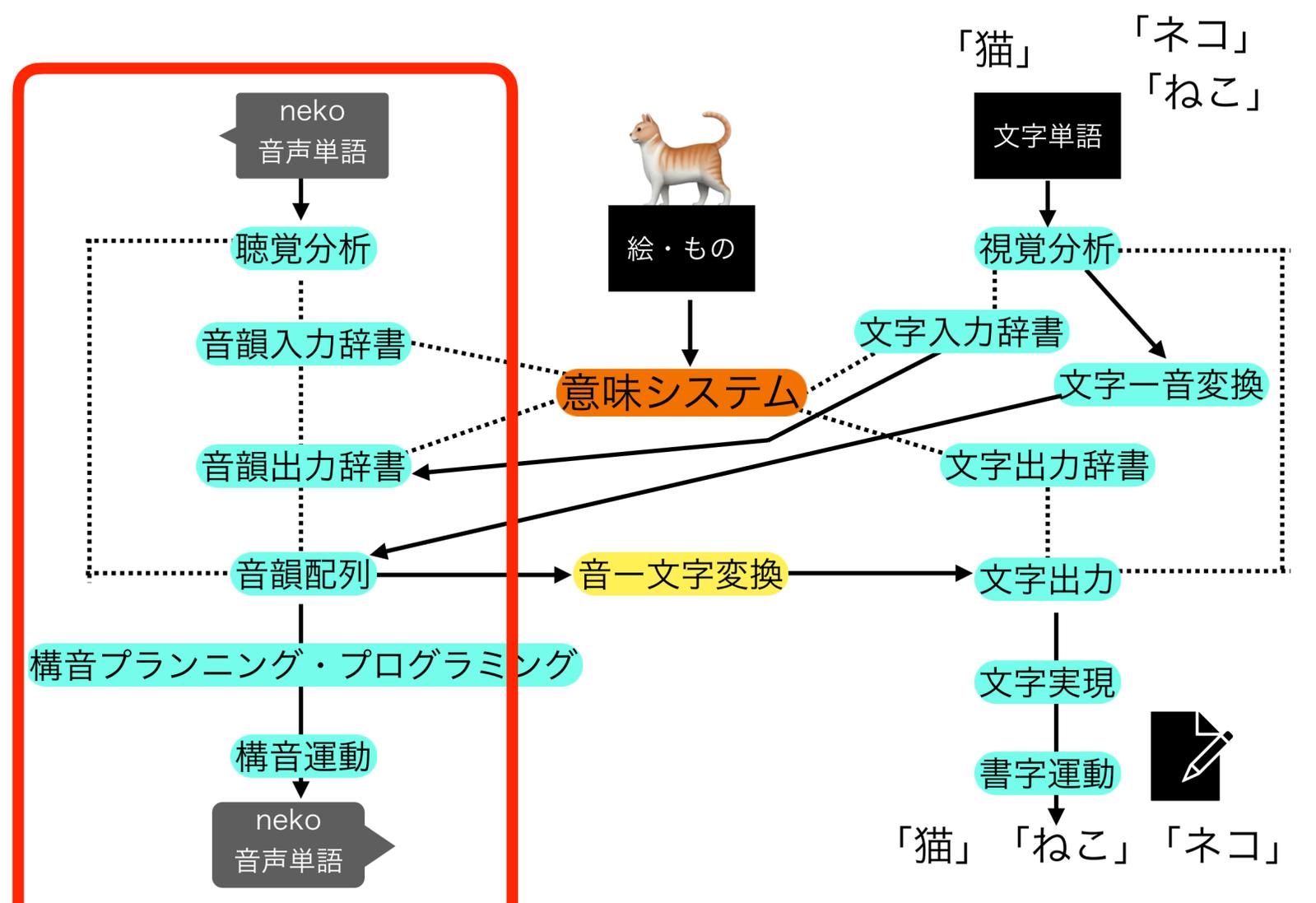
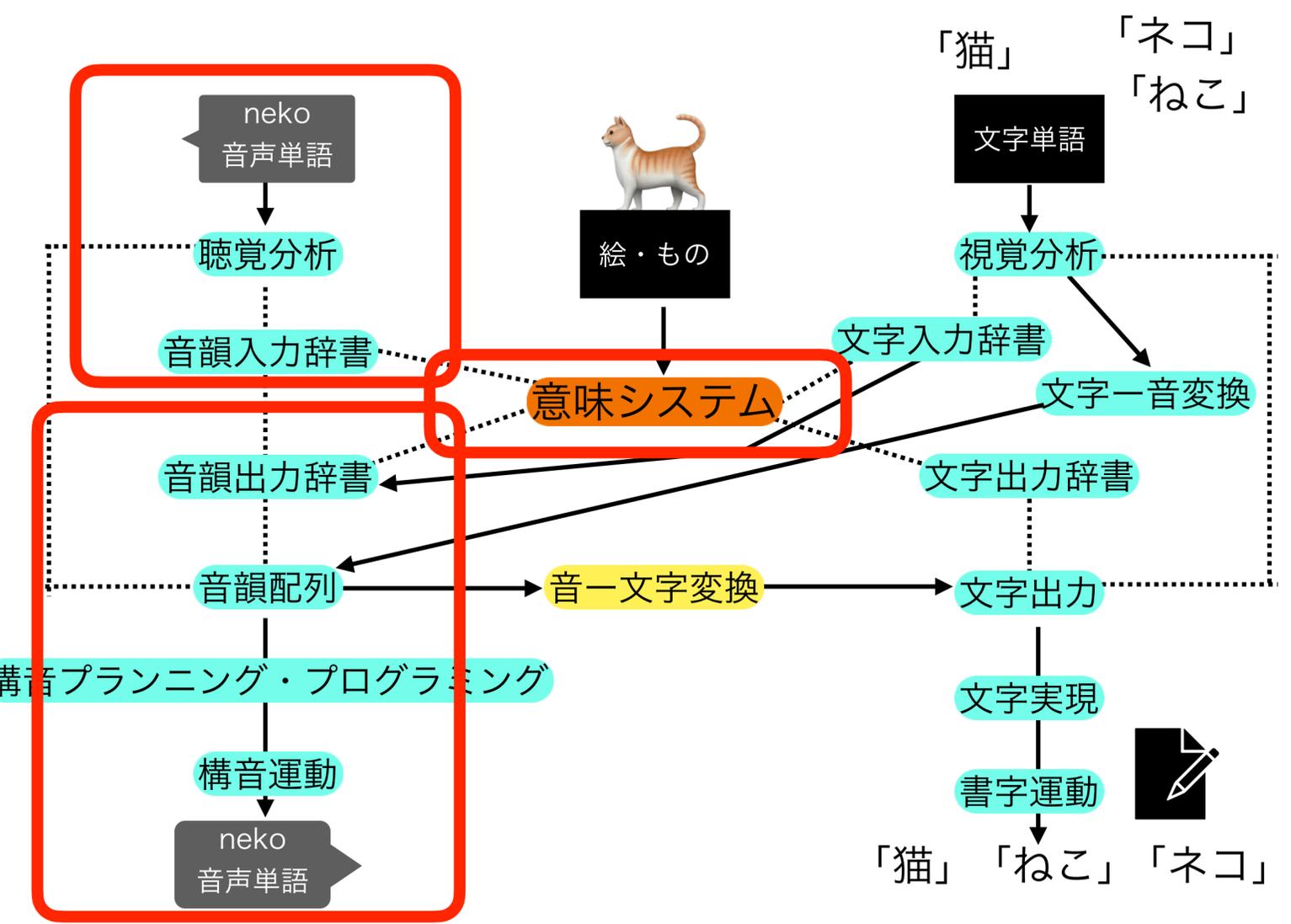


# ・ 第4回明日から実践できるログジェンモデル<話す（復唱）>編

ログジェンモデルにおける<復唱>の言語処理過程について、  
<意味理解の伴う復唱>と<意味理解の伴わない復唱>の違いについて説明します。

### <意味理解の伴う復唱>

### <意味理解の伴わない復唱>

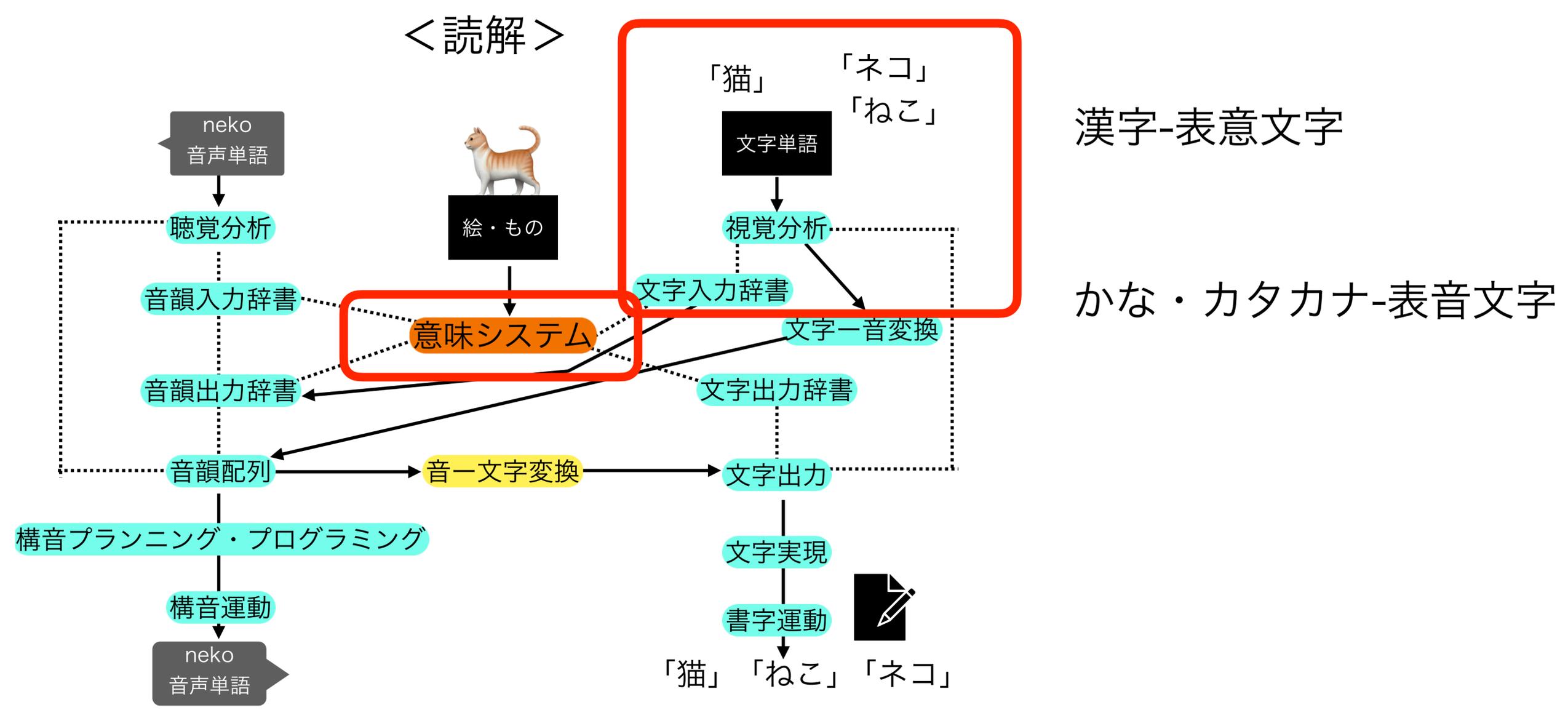


【読解のつまづきが一瞬でクリアに！】 ロゴジェンモデルで“読み解く力”のプロセスを深く理解

《読解アプローチ 完全マスター講座》 — 明日から実践できる！動画+PDFオンデマンド —

## ・第5回明日から実践できるロゴジェンモデル<読む（読解）>編

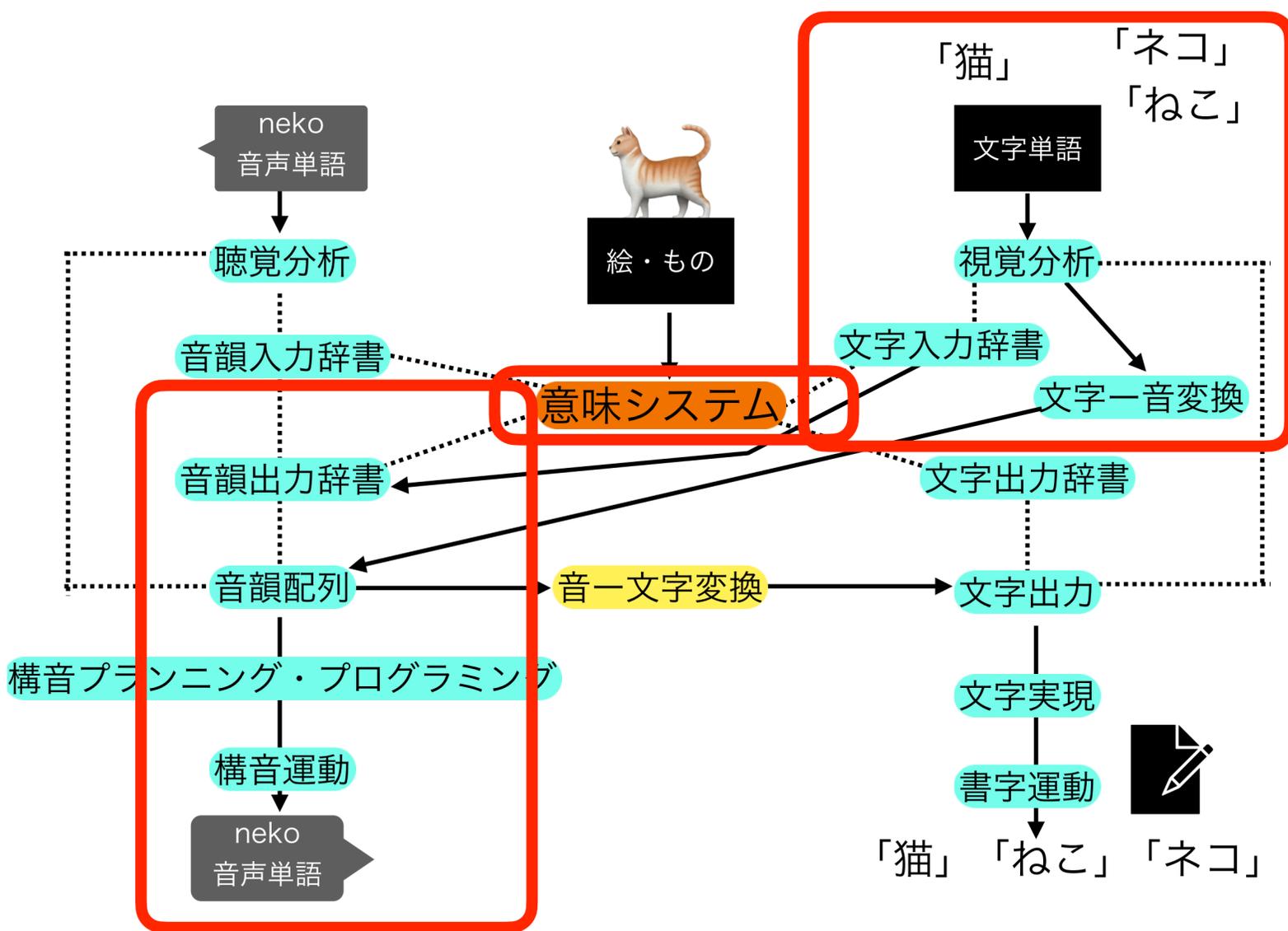
ロゴジェンモデルにおける<読解>の言語処理過程について、  
<仮名单語の音韻ルート>と<漢字単語の非音韻ルート直接語彙ルート>の違いについて説明します。



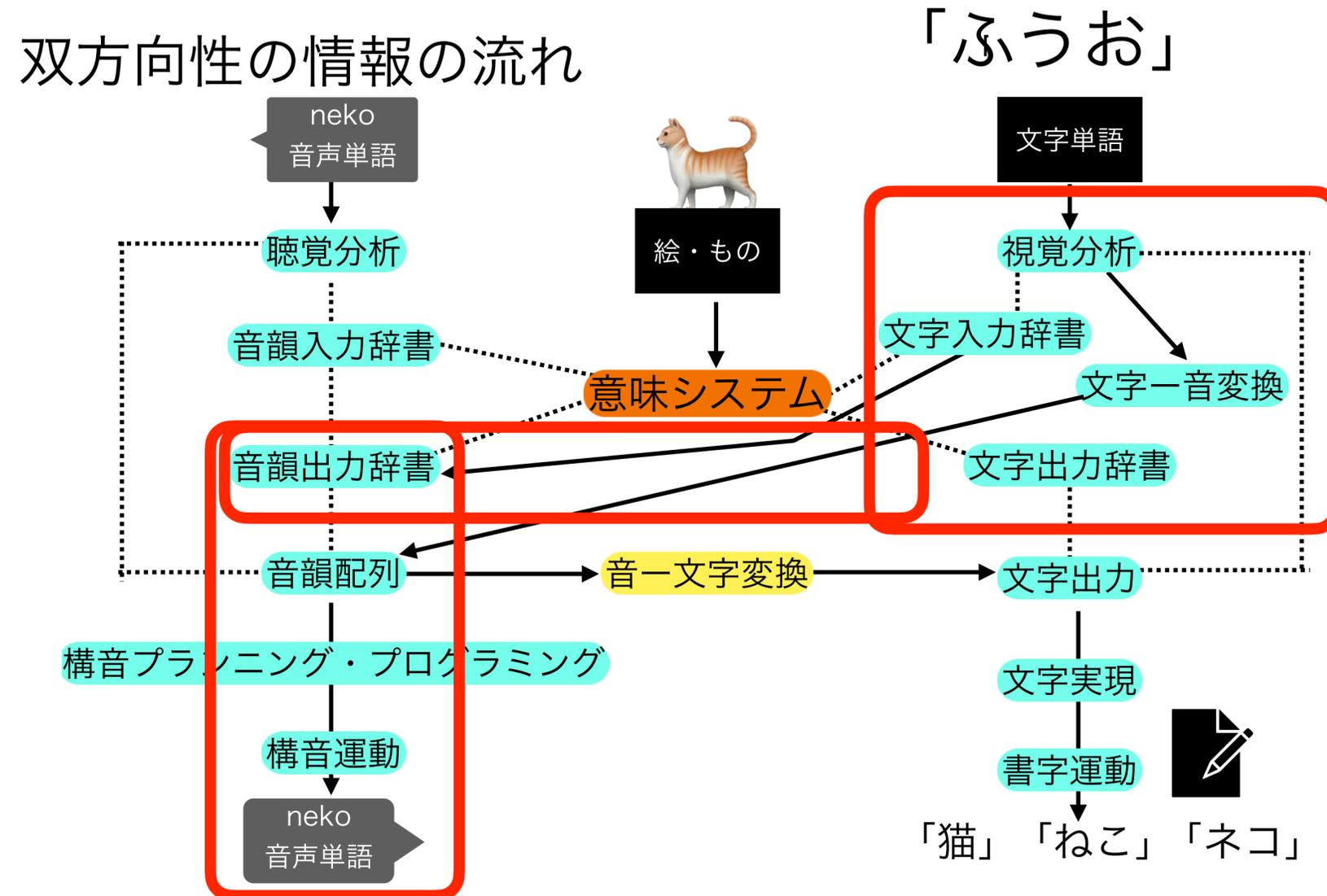
## ・第6回明日から実践できるロゴジェンモデル<読む（音読）>編

ロゴジェンモデルにおける<音読>の言語処理過程について、<仮名单語を中心とした音韻ルート>と<漢字単語を中心とした非音韻ルート・直接語彙ルート>の違いについて説明します。さらに、「音韻性失読」と「表層性失読」がそれぞれどの情報処理過程における障害なのか説明します。

<意味を伴う音読>



..... <意味を伴わない音読>

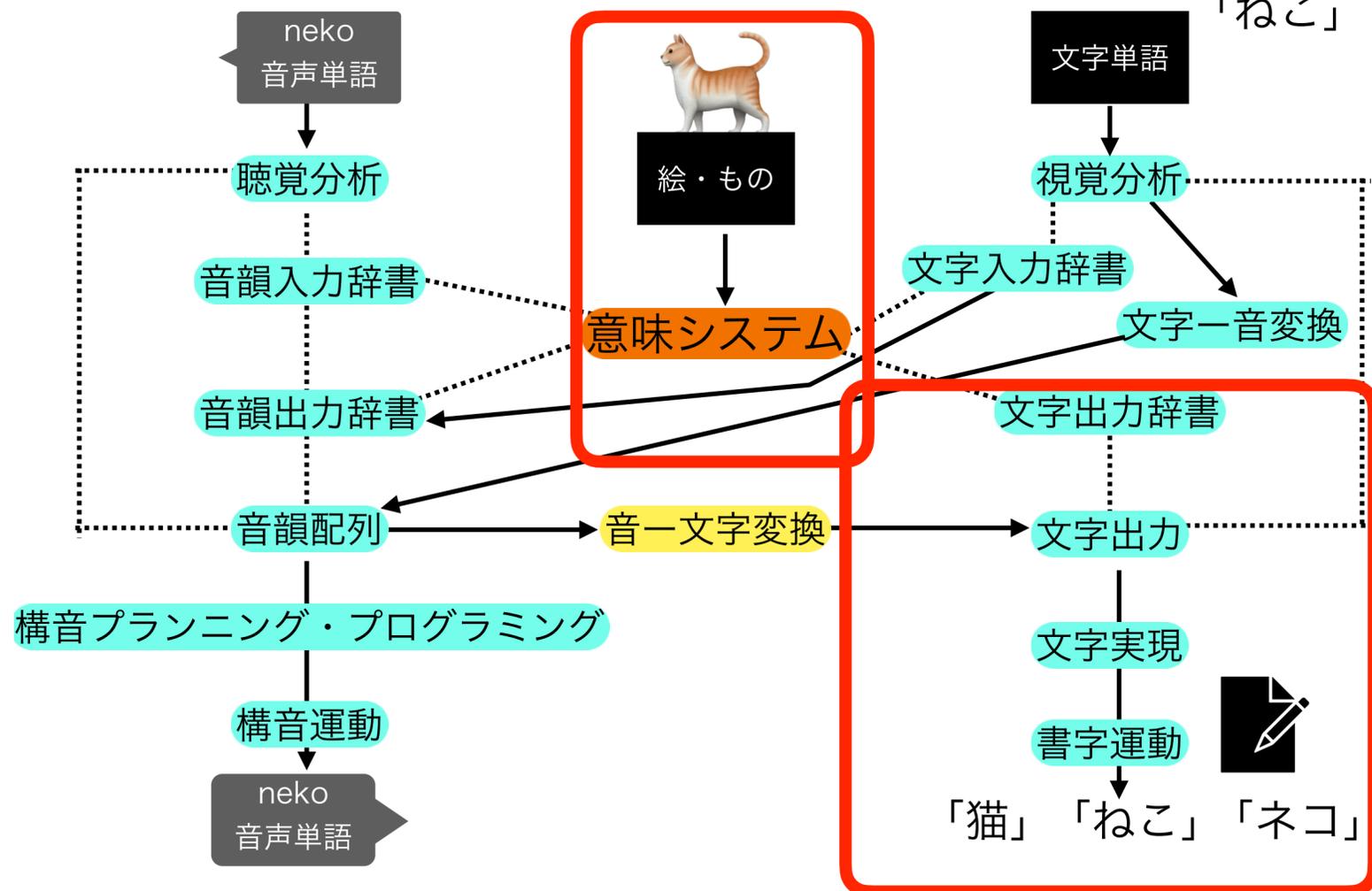


## ・第7回明日から実践できるロゴジェンモデル<書く（書称）（書取）>編

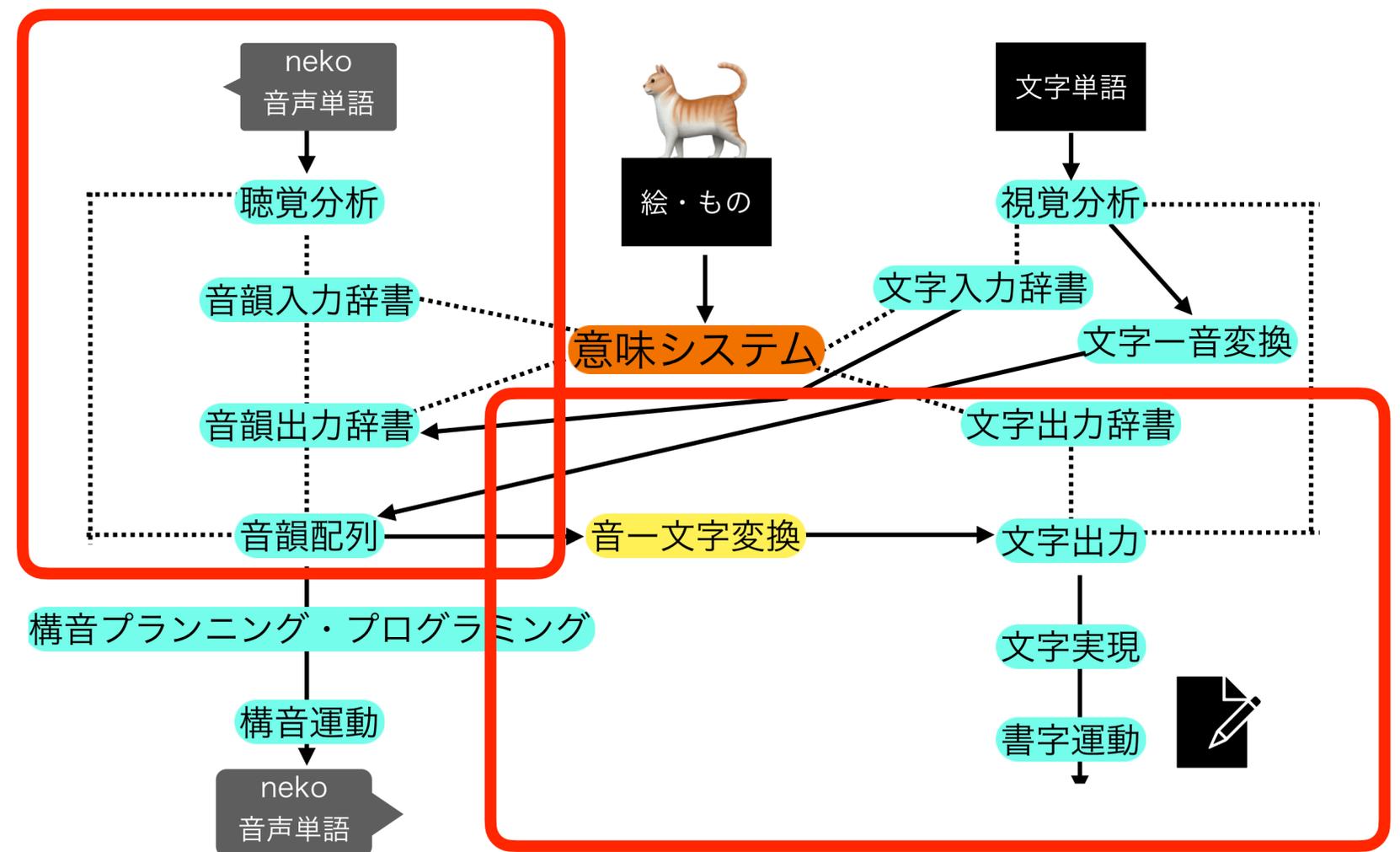
ロゴジェンモデルにおける<書称><書取>の言語処理過程について、<音韻を1つずつ文字に変換する音韻ルート>と<音韻とは無関係に文字を選択する非音韻ルート・直接語彙ルート>の違いについて説明します。さらに、「音韻性失書」と「表層性失書」がそれぞれの情報処理過程における障害なのか説明します。

### <書称（物の名前を書く）>

「猫」 「ネコ」  
「ねこ」



### <意味を伴わない書取>



【発達支援の核心がわかる！】 ログジェンモデルで“ことばの育ち”を読み解く

《言語発達・構音発達アプローチ 完全マスター講座》 — 明日から実践できる！動画+PDFオンデマンド —

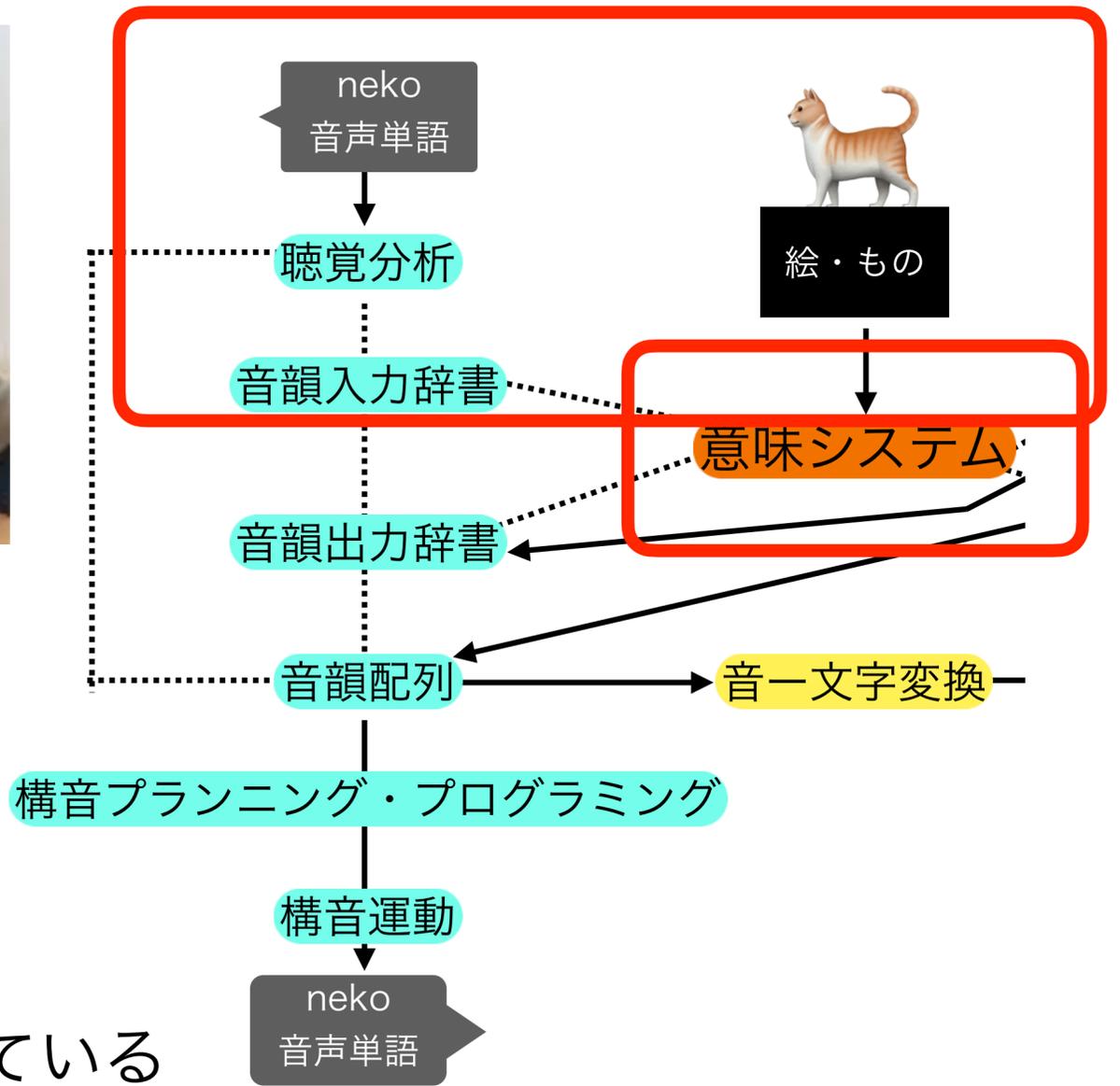
# ・第8回明日から実践できるログジェンモデル<言語発達 構音発達>編

<言語発達><構音発達>におけるログジェンモデル言語処理過程の発達について、初期言語発達過程と機能性構音障害と音韻照合の関係性を中心に説明します。

共同注意 子どもと大人が同じものに注意を向けること



<共同注意による言葉の獲得>



意味あることばの獲得 (初語 12ヶ月)

## 初期の名詞の意味的範囲



意味の過大範囲 (語彙拡張、過大汎用) 語の意味が広がりすぎている

【言語発達～失語症まで一気に理解！】 540分×540枚スライドで体系的に学ぶ

《ロゴジェンモデル完全攻略・全9回オンデマンド講座》

— 明日から実践できる！動画+PDF —

＜セット内容＞各回2,000円

- ① 《聴く（聴覚的理解）編》    ② 《話す（呼称・語想起）編》    ③ 《復唱編》  
④ 《読解編》    ⑤ 《音読編》    ⑥ 《書く（書称・書取）編》 ⑦ 《言語発達・構音発達編》

+

セット販売限定 非売品（総説編と概説編の約120分の動画と説明PDF）

セット価格 15,000円  
(実質 18,000円)

**Peatixまたは「言語聴覚士学びの場研究会ホームページ」で販売中**